

よくある場面から学ぶ多重課題



現在の多重課題の研修は、主に机上訓練やシミュレーションです。しかし、机上訓練はリアリティに欠け、シミュレーションは手間がかかるという欠点があります。本シリーズは、臨床判断能力の育成に寄与することを目的としたシミュレーション学習の視聴覚教材です。経験の浅い看護師が臨床場面で直面する多重課題場面として【予定変更】【報告・相談】【複数の行為の優先度】【複数の人との関わり】の4つをキーワードとして事例を提示します。また対応例を示し、対応のポイント、優先順位の判断の根拠などについて解説します。演習やグループワークでご活用ください。

● DVD全3巻 ■ 各巻価格 ¥28,000 (本体価)+税
■ セット価格 ¥84,000 (本体価)+税



■ 原案監修：瀧本 雅昭 東邦大学医療センター大森病院 看護部 急性・重症患者看護専門看護師

■ 原案：橋本 裕 東邦大学医療センター大森病院 看護部 老人看護専門看護師 / 看護部教育専従 / 四本 竜一 東邦大学医療センター大森病院 看護部 看護部長補佐 / 伊勢 主則 東邦大学医療センター大森病院 看護部 主任看護師 / 山村 尚裕 東邦大学医療センター大森病院 看護部 主任看護師

VOL.1 総論・予定変更 1 NEW 16分

総論：多重課題とは何か、またよくある多重課題の場面と、多重課題に直面したときの新人看護師の特徴などについて解説します。
予定変更 1：腰椎椎間板ヘルニアで入院中の後藤さんには、点滴投与とリハビリが予定されています。点滴をつなぎに訪室すると、後藤さんから売店に行きたいとの訴えがあります。



©2016



VOL.2 予定変更 2(報告・相談)・複数の行為 NEW 19分

予定変更 2(報告・相談)：虫垂炎の保存的治療で入院中の加藤さんには、全身清拭が予定されています。清拭のために訪室すると、腹痛の訴えがあり、清拭を拒否します。
複数の行為の優先度：新人の小林看護師は、佐々木さんと平田さんの2人の患者を担当しています。佐々木さんからのナースコールを受けた直後に、平田さんからもうナースコールがあります。

VOL.3 複数の人との関わり 1・2 NEW 20分

複数の人との関わり 1：一過性脳虚血発作で入院中の山中山さんからナースコールがあり訪室すると、同室の林さんからトイレに行きたいとの訴えがあります。
複数の人との関わり 2：高木さんの点滴刺入部の痛みの対応中に、認知機能障害を持つ富田さんへの対応が必要な状況となります。その時、別の患者の家族からクレームがあります。

実習前に必ず見よう！ 事例で学ぶヒヤリ・ハット



このDVDは、実習場面でよく起こるヒヤリ・ハットや事故の事例から、「何がヒヤリ・ハットにつながるのか」「どうして事故になったのか」について、見て学ぶだけでなく、事例の後のQuestionを考察することにより、いかなる看護場面でも事故や危険を予測できるスキルや視点を養うことができます。看護実習前のガイダンス、基礎看護技術演習での注意すべきポイント、医療安全のシミュレーション学習としてぜひご活用ください。

● DVD全2巻 ■ 各巻価格 ¥28,000 (本体価)+税 ■ セット価格 ¥56,000 (本体価)+税

■ 監修：片山 はるみ 浜松医科大学 医学部 看護学科 教授
■ 原案：鈴木 美奈 浜松医科大学 医学部 看護学科 准教授



VOL.1 あらゆる看護行為に潜むヒヤリ・ハット ～ 危険予測スキルを身につけよう I ～ NEW 37分

ヒヤリ・ハットは、あらゆる看護行為に潜んでいます。この巻では、看護実習で起こりやすいヒヤリ・ハットとして「環境整備」、「血圧測定」、「移乗・移送」、「患者情報」の4つの事例を取り上げ、事故や危険を予測するスキル・視点を養います。

VOL.2 患者アセスメントに潜むヒヤリ・ハット ～ 危険予測スキルを身につけよう II ～ NEW 36分

ヒヤリ・ハットは、患者のアセスメントの不足から起こるものもあります。この巻では、アセスメント不足を中心としたヒヤリ・ハットとして「患者のリスク把握」、「排泄介助」、「清潔援助」、そして看護実習で起こりやすい「配慮不足」の4つの事例を取り上げ、事故や危険を予測するスキル・視点を養います。



©2016